

令和6年度大阪府立門真西高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

《日時》 令和7年2月10日(月) 13時30分～15時00分

《場所》 会議室

《出席者》

・ 委員

木村 雅則(四天王寺大学)

井出 邦宏(門真市教育委員会)

杉井 伸夫(速水小学校)

藤本 幸二(第三中学校)

中内 恵(本校同窓会)

玉置 哲也(令和6年度本校PTA代表)

・ 事務局(学校関係者)

校長 教頭 事務長 首席2名 教務主任 生徒指導主事(首席と兼任)

進路指導主事 保健主事 第3学年主任 第2学年主任 第1学年主任

1. 開会 会長挨拶

2. 校長挨拶

3. 第2回授業アンケート結果【教頭より】

(1)アンケート結果報告

(2)第1回と第2回の比較と考察

4. 令和6年度「学校教育自己診断」結果【教頭より】

①生徒 ②保護者 ③教職員

5. 令和6年度 学校評価【校長より】

6. 令和7年度 学校経営計画【校長より】

7. 3 学年・4 分掌からの本年度の教育活動の総括【学年主任・分掌長より】

(1) 3 学年教育活動の進捗状況

(2) 進路指導部

- 1 今年度の進路先について
- 2 第1・2 学年の進路学習について

(3) 保健部

- 1 本校における感染症感染者数について
- 2 保健室来室状況について
- 3 今後の保健教育について

(4) 生徒指導部

- 1 身だしなみについて
- 2 遅刻数について
- 3 生徒会：体育祭の応援団について
- 4 生徒会：部活動について

(5) 教務部

- 1 新カリキュラム検討について
- 2 新校務処理システムについて
- 3 新入試システムについて

8. 協議

(生徒会とSNSの活用)

委員：「生徒会にFacebookやInstagramなどのSNSの運用権限を与えるべきではないか？ 学校の認知度向上や生徒数の増加のために、SNSの活用は必要だ。また、私立高校の授業料無償化により公立高校の人气が低下している問題に対しても、有効な対策となる。」

事務局：「SNSを運用するには適切な指導が不可欠である。演劇部などはブログを活用しているが、ブログは閲覧者が興味を持ち、自発的にアクセスしなければならない点が難しい。一方、SNSは“おすすめ機能”などを活用できるため、より多くの人に情報を届けやすい。ただし、公立高校ならではの良い点を見つけ、それを発信することも重要だ。」

(卒業式の状況)

委員：「卒業式当日の状況について。他校から生徒が来ることはあるのか？」

事務局：「本校に特別な影響はないが、転退学した生徒が訪れることはある。また、近隣の高校と卒業式の日程を統一することで、無用な混乱を防いでいる。」

(私立高校無償化の影響)

事務局：「私立高校の授業料無償化により、公立高校の教員数が減少している。結果として、一人当たりの業務量が増え、生徒一人ひとりに丁寧に対応したいが、十分に時間を割くことが難しくなっている。」

委員：「私立高校の無償化が進んだからといって、全員が私学に進学できるわけではない。」

委員：「私立高校は授業料こそ無償化されても、諸費用は公立よりも多くかかる。この点があまり周知されていないのではないか？」

事務局：「クラス定数が減ると、事務職員の定員も減少する。しかし、授業料無償化に伴い事務作業が増えており、事務員の数と業務量が反比例している。さらに、提出書類の電子化が進んだことで問い合わせが増加し、業務負担が増えている。」

(教育環境の充実)

委員：「生徒数に応じて教員や事務員の定数を決めるのではなく、生徒一人ひとりにきめ細やかな教育を提供する観点から、適切な配置を考えるべきではないか。」

委員長：「そういった意見があるならば、門真西学校運営協議会から教育庁へ意見書（職員の採用その他の任用について）を提出しましょう。異議のある方はおられないと思います。」